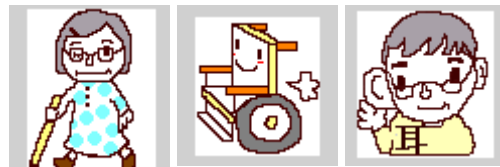


リフトバスに乗ったら講座、降りたらフィールドワーク
JR和歌山駅東口発着。 わかやま歩歩歩！



トラベルサポーター(旅行介助ガイド)養成・実践移動講座

**徳川紀州家御用達の醤油の町湯浅
と紀州漆器で栄えた黒江の町並みへ。冬の高野山・バリア
フリーの宿坊に泊り、翌朝は奥の院で真冬も毎日2回弘法
大師御廟へ食事を運ぶ生身供(しょうじんぐ)を見学。大和
街道に沿って、和歌山県が誇る医師
華岡青洲の墓と、かつて秀吉に従わ
ず紀州攻めで焼き討ちされた粉河寺
や根來衆の根來寺を巡り、身体の不
自由な人の旅行介助を学ぶ2日間**

冬の高野山は観光資源か！

高野山はフランス・ミシュランの3つ星を獲得しました。

あなたは、厳寒の北海道の流氷やたんちょう、アラスカや北欧の厳寒の北極圏で見るオーロラを見たいですか？オーロラ見学の現場は鼻毛が凍るマイナス30～40度の世界です。冬の高野山はマイナス5度から10度程度。積雪30センチ程度。県道は県が除雪し、町道は町が除雪するそうです。高齢化率32.3%で、人口3,979人(平成22年度国勢調査)の高野町という町が存在し、標高800m～850mに役場、寺、郵便局、銀行、商店街などがあり、居酒屋もあるのです。

高野山の修行僧たちは冬も裸足だそうです。本当かしら？弘法大師さんもそうだった？私たちは暖房の完備した宿坊に泊ります。しかし外歩きは寒いですからスキーに行くような服装で、靴はスノーブーツに靴に巻く滑り止めのゴムベルト等を、ご準備ください。冬の高野山を訪れる価値があるのかないのか、旅の現場で考えてください。

旅は既成概念をはずす機会でもあります。

全体コーディネーター おそどまさこ

日程 2012年1月14日(土)～1月15日(日)

参加・受講費 無料 **募集人員** 40名程度

(和歌山県委託事業の一環として実施いたしますので、参加・受講費はかかりません。)

ただし、夕食、昼食各1回の実費を5000円程度申し受けます。

ごあいさつ

福祉における介護の場と異なり、旅行や広域外出の現場では時刻表や地図を読み、交通機関を利用し、未知の町を移動しながら、段差、坂道、エレベーター、エスカレーターをクリアしつつ車いすを押ししたり、手引き介助したり。旅程を無駄なく、無理なくこなしつつ、安全に介助するレベルが求められます。設備の合わない宿に宿泊することもあります。さらに待たなしの限られた日程の中で、よりよい旅実現のためのサポートに最大限の努力をしなければなりません。

老後、家族の介助が得られなくても、重度の障がいを持って、旅や移動、外出が社会の仕組みとして実現できるように、旅のクリエイターの力のある全国レベルの旅行介助ガイド=トラベルサポーターを養成する実践移動講座(中級)を実施いたします。

旅行介助ガイド養成講座初級、中級講座を終了された方には「修了証」を東京のNPO法人、中間支援組織 JTVN からさしあげます。

日程表

日次	日程	時間帯	予定	宿泊	朝	昼	夜
1日目	1/14 (土)	午前8時	JR和歌山駅東口集合・出発。(時間厳守) ①徳川紀州家の醤油の町、湯浅の古い町並み散策、②紀州漆器で栄えた黒江の町並み散策。③高野山へ。④詳細は「実践移動講座で実現したい旅行介助プラン」参照 ⑤夜間、自由参加の「耳すましウォーキング」	高野山、南院に宿泊 (車いす対応トイレと中浴場があり)	X	X	○ 自費
2日目	1/15 (日)	解散は遅くとも午後6時半頃	午前6時30分 バリアフリーの宿坊「南院」朝の勤行(ごんぎょう)体験。 9時半、リフトバスで奥の院御供所近くへ。通年毎朝2回、弘法大師御廟への生身供(しょうじんぐ)を見学。「実践移動講座で実現したい旅行介助プラン」を参照してください。 解散予定(列車を予約される方は午後7時過ぎにしてください。)		○	○ 自費	X

■JTVN 登録者& 他県の旅行介助ガイド講座受講者へ
本中級講座は wac わかやま主催の初級講座受講生優先ですが、JTVN が過去に行なった旅行介助ガイド養成講座に出席したが、さらにスキルアップしたい方や、盲導犬使用者、車いす使用者等で参加ご希望の方は電話にて JTVN 宛至急ご相談ください。042-372-8501

■お申し込み
定員になり次第締め切り
めやす 2011年12月27日(火)
(受講希望者は NPO 法人 wac わかやま 073-414-1189 へできるだけ早くお申し込み下さい。また以降も可能な限りお受けします。)

この講座(中級)で実現したい旅行介助プラン

14日

- ★JR和歌山駅のバリアフリー事情を把握します。県外から和歌山県に来られる高齢者や身体が不自由な旅人で、おおかたの方は車の運転ができませんのでJRで着かれると思います。ミーティングポイント、センディングポイントにすることが多いと思われる。バリアフリートイレ、東口と西口を結ぶ地下通路、コインロッカー等、インフォメーションいたします。(情報シート配布)
- ★中紀バスの大型リフト付バスを貸し切っております。車いすの人を乗せたままリフト昇降させるときになにに一番気を遣うか、車内での車いす固定のしかた等を見学します。
- ★まず42号線を南下。バスの車内は教室です。車窓から視覚障害のある人への説明のしかたを研修します。盲導犬使用者が同行されるようでしたら、質問を受けていただきます。
- ★徳川紀州家の醤油の街湯浅の古い町並みをバリアフリー事情を把握しながら歩きましょう。観光ガイド同行予定。町歩きの車いすの押し方を学びます。(情報シート配布)
- ★海南市の紀州漆器で栄えた黒江の古い町並みへ。町歩きの車いすの押し方を学びます。視覚に障害がある人の同行介助のしかた、盲導犬使用者の同行介助のしかたを学びます。(情報シート配布)
- ★黒潮市場では自由散策及び自由昼食の時間としました。(情報シート配布)宿題出題「身体に障害のある人を連れて行き、とびきりおいしいランチを食べさせるためには、どのようなことに注意をしたらいいか、気がついたことを5つあげよ。」高野山へのバスの中でディスカッションします。身体に障がいのある人はなかなか人混みに近づけません。こんなとき、人ごみの中をどのようにサポートしたらいいのか、ポイントになると思います。
- ★高野山に着いたら、まず大門で下車。車いすでのバリアフリーではないところのアプローチを学びます。(情報シート配布)
- ★かつて高野山には女性は入山できませんでした。「女人堂」まで来れたと聞きます。女人堂横のバリアフリートイレを視察します。オストメイトの対応のバリアフリートイレは高野山にいくつあるのでしょうか。(情報シート配布)
- ★高野山の福祉施設で車いすの漕ぎ方を学びます(現在交渉中)。すべての受講者が手動の車いすの漕ぎ方を理解してください。
- ★高野山の宿は、宿坊「南院」です。場所は徳川家霊台近くです。玄関に数段の段差がありますが、あとはバリアフリー。バリアフリートイレもありますし、中規模の浴場があります。バリアフリーの宿坊への泊まり方を学びます。(情報シート配布)
- ★南院では、大浴場サポートの講習をいたします。目が不自由な方、白杖、もしくは盲導犬使用者の場合、手動の車いすの方の場合、手に力が入らない人、足で立つことができない人の場合、どのように湯船に入ってお風呂を楽しんでいただくか、今のところ正解の答えはありません。皆さんの意見を現場で出していただきます。そして、和歌山での方法を決めたいと思います。
- ★南院では精進料理の夕食をいただきます。全員 自費。お坊さんからお食事についてメニューを説明していただきます。それを受けて、目が不自由な方にどのように説明するか、講習いたします。
- ★南院を20時00分に出て、冬の高野山の静寂と寒さの中で金剛峯寺の大塔の鐘の音を聞きに自由参加の「耳すましウォーキング」をいたします。靴裏に滑り止めを付けておられない方は同行できません。ほっかいる、スノーブーツ、ダウンジャケット、レグウオーマー等の防寒と滑り止めが不可欠です。滑っても転んでも自己判断、自己決定、自己責任という三原則でご参加くださるようお願いいたします。2本のロープを活用して、雪道の車いすの介助方法を学びます。(自由参加)(情報シート配布)

15日

- ★早朝(06:30~07:15)、「南院」の本堂では朝の勤行(ごんぎょう)を経験いたしましょう。
 - ★宿坊「南院」では精進料理の朝食をいただきます。全員一緒。お食事についてお坊さんからメニューを説明していただきます。それを受けて、目が不自由な方にどのように説明するか、復習いたしましょう。
 - ★午前9時半にチェックアウトを済ませ、奥の院近くの駐車場へバスに乗って向かいます。位置の確認と駐車場のバリアフリートイレを各自見学してください。(情報シート配布)
 - ★奥の院への歩き方観光の仕方は健常者であれば、通常「一の橋」から諸大名墓石群の間の小道を歩いて、中の橋、御廟橋を経て「弘法大師御廟」まで歩いて行くのがよいと思われます。ゆっくりお墓のデザインなど見ながら、片道30分ほど見ればよいでしょう。印象に残ったのは薩摩の島津家の墓。記憶に違いがなければ特大サイズだったと記憶しております。現代人の薬メーカーの社長などの墓もあつたりして、墓の配置は現代の世相を反映していて、おもしろいと思います。この小道は残念ながらバリアフリーではありませんので、車いすの方が行く場合は、この度の駐車場から奥の院の弘法大師御廟まで進むと良いのではないのでしょうか。(情報シート配布)
 - ★高野山の朝、弘法大師がまだいらっしやるとの考えの元に、通年の毎日、午前6時と午前10時半に僧侶たちが弘法大師にお食事を運ぶ営みがあります。「生身供(しょうじんぐ)」といいます。御供所から弘法大師御廟までの道のりを大師のために作った料理を運び備えます。これをぜひ見学したいと思います。それぞれ見学を終えられましたら、バスへお戻りください。出発は11時45分を予定します。
 - ★華岡青洲の墓参りをします。著名な江戸時代の外科医。世界で初めて全身麻酔を用いた手術(乳癌手術)を成功させました。ここの近くでランチをいただきます。(情報シート配布)
 - ★かつて秀吉に従わず紀州攻めで焼き討ちされた粉河寺(情報シート配布)や根來衆の根來寺(情報シート配布)をちょっとだけ訪れます。バリアフリーになっているところだけに行くのではなく、バリアフリーになっていないところをどう扱うのか、バリアフリーになっていないところをどのようにサポートするか、バスの中でそれぞれの考えをお知らせいただきます。最終コーナー解散の和歌山城の下で、階段を背負って上がる道と、ぎりぎりまでサポートしてあきらめていただく道とどちらを選ぶべきか、バスの車内でディスカッションをしたいと考えます。
 - ★この日は夕方6時半頃、JR和歌山駅で解散いたします。お疲れ様でした。
- (上記プランはできるだけ実行するよう最大限の努力をいたしますが、その日の天候や受講者の体調その他の事情や理由により、実現できない場合もありません。)(情報シート配布 →本プロジェクトで取材・構築したバリアフリーインフォメーション・シートを各地でお渡しする予定です。)

■この実践・移動講座(中級)受講のお申し込みは

NPO法人 wac わかやま 和歌山県和歌山市西高松2丁目1-4 (〒641-0051)

電話：073-414-1189 FAX：073-418-2289